

「遙かなるイタリア 川村清雄と寺崎武男」

会期: 2025年4月19日(土)~6月8日(日)
会場: 目黒区美術館

主催: (公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

作者	作品名	制作年	材質技法	寸法cm	所蔵	
遙かなるイタリア						
1	川村清雄	ベネチア風景	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、水性絵具・板	38.3× 121.8×2.8	目黒区美術館
2	寺崎武男	〔黄帆船図〕	1920年代	着彩(パステル) ・絹本	53.0×43.1	
3		ヴェニス	1920年代	水彩・紙	26.5×35.5	NPO法人 安房文化遺産フォーラム
川村清雄						
4		水差し	1875(明治8)年	鉛筆、黒鉛・紙	29.5×48.0	
5-1		裸体習作(横位置)	1873-81(明治6-14)年頃	コンテ・紙	23.9×31.9	
5-2	川村清雄	顔習作	1873-81(明治6-14)年頃	コンテ・紙	31.9×23.9	
6		裸体習作(縦位置)	1873-81(明治6-14)年頃	コンテ・紙	31.5×23.5	目黒区美術館
7		幼児石膏習作	1873-81(明治6-14)年頃	コンテ・紙	12.0×11.8	
8		河畔の眺め	1735-44年	エッチング・紙	29.5×43.0	
9		プラート・デッラ・ヴァレのサンタ・ジュス ティーナ聖堂	1736-46年頃	エッチング・紙	29.5×42.5	
10	カナレット (ジョヴァン ニ・アントニ オ・カナル)	メストレ(都市景観図シリーズより)	1735-44年	エッチング・紙	29.3×42.8	
11		〔架空のパドヴァの眺め〕	1740-42年	エッチング・紙	29.6×43.0	
12		〔パドヴァのプラート・デッラ・ヴァッレ〕	1735-46年	エッチング・紙	29.7×42.7	個人蔵
13		〔マルゲーラの塔〕	1735-1747年	エッチング・紙	29.0×42.5	
14		高砂	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、銀箔・絹	42.4× 136.4	
15		鴨	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、銀箔・絹	42.6× 178.2	
16		まな・あらな	1912-26(大正期)	油彩・絹本	36.3×72.7	
17	村上彦四郎 (村上義光 錦御旗奪還図)		c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、金箔・絹、 屏風(二曲一隻)	147.5× 147.0	
18		後鳥羽院隠岐配流の図	1919(大正8)年頃	油彩・板	30.0×39.5	
19		布袋と唐子	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、銀箔・絹	19.6×62.0	
20		沙羅に葉袋	1933(昭和8)年	油彩・板	27.2×46.1 ×1.0	
21		太田道灌	制作年不詳	油彩・板(黒漆角盆)	22.8×22.8	
22		朝顔につるべとられてもらい水	制作年不詳		22.8×22.8	
23		鈴と絵馬		油彩・絹(扇形色紙)	21.9×47.4	
24		姫小松	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・紙(扇形色紙)	22.1×47.0	
25	川村清雄	かれい		油彩・絹(扇形色紙)	21.7×47.4	目黒区美術館
26 33		妹背山婦女庭訓(2枚組)/〔題不明〕/ お玉が池/〔題不明〕/〔題不明〕/竹芝/ 〔題不明〕	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・絹(短冊)	各36.2× 6.1	
34		貝合わせ	制作年不詳	油彩・紙(色紙)	21.0×18.0	
35		桜			21.0×18.0	
36		冬		油彩、金箔・絹 (色紙)	27.2×24.2	
37		梅	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、金箔・紙 (色紙)	21.2×18.3	
38		小督		油彩、金箔・絹 (色紙)	21.2×18.1	
39		柘榴	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・皿	φ23.3, H.2.6	
40		いにしへの奈良の都	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩、銀箔・板(桐)	φ42.0× 1.4	
41		三色すみれ	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・板(杉)	φ34.7× 0.8	
42	川村清雄 〔図案〕	袱紗(海老)	1922(大正11)年頃	絹(縮緬)	65.5×66.0	

43	帯	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・絹(帯)	W.31.8	
44	小督	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・板、黒漆塗	26.9×36.3 ×0.8cm	
45	鸚鵡	1910-34(明治43-昭和9)年頃	油彩・板、朱漆塗	84.5×36.3	
46	川村清雄 梅に雀	c. 1920-34(大正末-昭9)年頃	油彩・板	30.2×53.5	
47	花		油彩・キャンバス	27.4×45.4	
48	静物(紫陽花とちごはやぶさ)	1910-34(明治43-昭和9)年頃	油彩・キャンバス	53.0×70.0	
49	風景	制作年不詳	油彩・厚紙	40.6×54.8	
50	三條橋と橋上の人	制作年不詳	鉛筆・紙	23.5×13.0	
50-1	『兎糞録』大正名著文庫1(和田垣謙三著)	大正4(1915)年	書籍(至誠堂)	19.2×13.2	
51	川村清雄 七卿落	制作年不詳	鉛筆・紙	16.0×25.4	
52	『洗心廣禄』(表紙原画)	1926(大正15)年以前	油彩・紙	25.8×17.4	
52-1	『洗心廣禄』(幸田露伴著)	1926(大正15)年	書籍(至誠堂)	19.3×13.9	
53	川村清雄 頼山陽像(原画)	1926(昭和元)年以前	油彩・紙	27.4×24.4	目黒区美術館
53-1	『詳解全訳漢文叢書1 日本外史(上)』 (大町桂月訳評ほか)	1926(昭和元)年	書籍(至誠堂)	19.4×14.0	
54	川村清雄 關羽	1927(昭和2)年以前	油彩・板	24.8×34.5	
55	孟母断機図(原画)	1928(昭和3)年以前	油彩・板	22.0×35.6	
55-1	『詳解全訳漢文叢書 孟子』	1928(昭和3)年	書籍(至誠堂)	19.4×14.0	
56	【参考出品】 川村清雄が装幀・意匠に関わった書籍類				
57	川村清雄の使用した絵画道具				
	T型定規 [4本](木製)				
	定規 [1本](木製)				
	雲形定規 [6個](木製)				
	パレット (木製)				
	スケッチ箱(木製、金具、革の取っ手付き)				
	絵具 [5個](チューブ入り)				

寺崎武男

58	自画像	1917(大正6)年頃	銅版・紙	24.2×16.8	千葉市美術館
59	トーレス設計のヴェニス of 武男の下宿	1920年代	水彩・紙	13.5×9.3	
60	ある男の像	制作年不詳	テンペラ・紙	50.0×36.0	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
61	ある婦人像	制作年不詳	油彩・キャンバス	46.0×33.0	
62	寺崎武男 〔ポンペイとバステオ (バステアス)ピナス宮殿の近く〕	1920年代	コンテ・紙	13.6×20.2	目黒区美術館
63	〔鳥〕	1910(明治43)年	水彩・紙	52.9×43.5	
64	ゴンドラのあるドゥッカーレ宮殿 (寺崎渡宛ハガキ)	1915(大正4)／1916(大正5) 年1月1日付ハガキ	銅版・紙	7.7×13.6	千葉市美術館
65	ゴンドラ浮かぶリアルト橋 (寺崎節宛ハガキ)	1916(大正5)年5月27日付 ハガキ	銅版・紙	8.8×13.4	
66	寺崎武男のスケッチブック、手帳				
	最初の留学:長崎、上海、揚子江、香港、 シンガポール、コロンボ	1907年(明治40)年3月28日～5月5日		11.0×19.0	
	最初の留学:香港、シンガポール、ペナン、 コロンボ、アデン	1907(明治40)年4月22日～5月15日		11.0×18.5	
	2回目の渡欧:大島、横浜、軍艦島、屋島、 壇之浦、上海、揚子江、香港	1919(大正8)年12月26日～1920年1月12日		12.5×19.0	
	2回目の渡欧:コロンボ	1920(大正9)年1月14日～2月3日		12.5×19.0	
	2回目の渡欧:場所不詳、一部ヴェネツィア	1920(大正9)年3月17日～19日		13.0×19.8	
	2回目の渡欧:パリ、バルビゾン村、ヴェネツィア	1920(大正9)5月8日～21日、11月21日		14.8×23.0	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
	2回目の渡欧:ヴェネツィア、ガルダ湖畔、 ヴィチエンツィア	1921(大正10)年3月15日～18日		12.5×18.0	
	2回目の渡欧:ミラノ、ヴェローナ、マントヴァ、 ヴィチエンツィア、ヴェネツィア、ナポリ、 パレルモ、アマルフィー	1921(大正10)11月4日～1922年(大正11)年1月8日		10.4×17.3	
	2回目の渡欧:ローマ、ナポリ、パレルモ、シラクーサ、 アマルフィー、ポンペイ	1921(大正10)12月28日頃～ 1922年(大正11)年1月12日頃		13.0×8.0	
	2回目の渡欧:ギリシア(オリンピア、エギナ島)、 トルコ(イスタンブール)	1922(大正11)年4月9日～21日		18.5×24.5	

	2回目の渡欧:場所不詳(ヨーロッパの田舎)、 法隆寺《仏伝図》構想メモ	1922年(大正11)年6月8日~10月5日		5.0×21.0	
	手帳(1930年のスケジュール帳) 羅馬開催日本美術展のための渡欧	1930年		13.0×7.5	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
	イタリア語学習ノート			16.0×10.0	
67	[赤い家 イタリア]	1920年代	着彩(水彩)・紙	31.5×48.0	
68	[イタリアの夏 橋のかかる小道の村]	1920年代	パステル、水彩・紙	47.5×31.0	
69	[ヴェニス サンマルコ寺院]	1920年代	パステル・紙	43.5×28.8	
70	[イタリア 風景]	1920年代	パステル・紙	32.5×23.4	目黒区美術館
71	[ゴンドラの岸]	1920年代	着彩(水彩、 パステル)・紙	52.0×33.0	
72	[ヴェニス風景]	1920年代	パステル・紙	28.7×45.3	
73	ベニス 冬の暮れ	1920年代以降	リトグラフ	33.2×50.8	
74	溜め息の橋	大正期	銅版・紙	24.4×17.0	
75	ヴェネツィア小景	大正期	銅版・紙	14.2×19.8	
76	寺崎武男 ドゥカーレ宮殿	1926(大正15)年	銅版・紙	16.5×25.7	
77	船を造る家	大正期	銅版・紙	19.8×14.7	
78	(サンマルコ広場)	1926(大正15)年	銅版・紙	16.5×23.8	
79	ヴェネツィア	1917(大正6)年以前	銅版・紙	16.6×24.2	
80	ヴェネツィア アカデミア橋	大正期	銅版・紙	15.0×20.1	千葉市美術館
81	ヴェネツィアの橋II	大正期	銅版・紙	24.0×17.7	
82	(ヴェネツィア風景)	大正期	銅版・紙	20.0×14.3	
83	冬木立ち	大正期	銅版・紙	14.8×19.9	
84	ある婦人像	大正期	銅版・紙	21.8×31.7	
85	萌える木立	大正期	銅版・紙	20.0×14.2	
86	ヴェネツィアの船出	1922(大正11)年	石版・紙	28.3×20.7	
87	寺崎武男旧蔵 『ヴェネツィアの歴史』		書籍	33.0×45.0 x5.0	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
88	[天正遣欧使節団 法王の謁見 (下絵)]	1951-56(昭和26-31)年頃	パステル・紙	40.4×62.9	
89	[天正遣欧使節団 ヴァチカン広場 歓迎(下絵)]	1951-56(昭和26-31)年頃	パステル・紙	36.5×62.9	
90	[天正遣欧使節団]	1951-56(昭和26-31)年頃	着彩(水彩、 パステル)・紙	58.6×42.6	目黒区美術館
91	[磔刑]	制作年不詳	着彩(水彩、 パステル)・紙	59.1×42.8	
92	寺崎武男 [グロリア]	制作年不詳	着彩(水彩、墨)・紙	42.0×52.0	
93-1	天正遣欧使節 ヴァチカンへの行列	1917(大正6)年頃	紙本着色(テンペラ)・六 曲一雙屏風	168.5× 376.2	千葉市美術館寄託 (星野画廊)
93-2	天正遣欧使節 ヴェネツィアの大歓迎			168.5× 376.2	
94	[ヴェロナーゼ 「レヴィ家の饗宴」模写]	制作年不詳	油彩・キャンバス	85.5× 170.5	目黒区美術館
95	[ティエポロ 「クレオパトラの饗宴」模写]	1921 (大正10)年頃	油彩・キャンバス	70.3×38.3	
96	ヴェネツィアの女	1923-26年(大正12-15)年頃	フレスコ	95×171.0	
97	聖徳記念絵画館 壁画集 明治神宮奉賛会	1932(昭和7)年	書籍	50.0×40.0 x9.0	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
98	日本美術展覧会ポスター	1930年	ポスター	137.0× 92.0	
99	羅馬開催 日本美術展覧会記念図録 上・下	1930(昭和5)年	書籍	54.5×39.0 x4.0	
100	ドゥイッリオ・カン パロツティ [ローマ市寄贈の碑]	1928年	水彩・紙	77.8×56.0	目黒区美術館
101	皇后陛下のご仁慈 (国史絵画より)下絵	1935(昭和10)年頃	油彩・キャンバス	49.5×64.5	
102	寺崎武男 平和来る春の女神	1946(昭和21)年	着彩・紙、 二曲一雙屏風	202.7× 202.8×2.7	
103	蝶々夫人	1960(昭和35)年	着彩・紙、 六曲一雙屏風	137.7× 250	NPO法人安房文化遺産 フォーラム
104	天照大神 永遠の平和	1945(昭和20)年	着彩・紙	92.3× 136.0×2.0	
105	【参考出品】寺崎武男が通信したハガキ			9.0×14.0	